

3/1
2006 No.170
500
yen

pen

with New Attitude

奔放さと情熱のDNA スペインの デザイン 大研究。

表参道ヒルズ出現で生まれ変わる、
青山・表参道MAP

DISEÑO EN ESPAÑA

エクトル・セラノ Hector Serrano 繭のような照明は、ポリエステル製。



ウォーターブルーフ
Waterproof

緊急用の水に浮かぶライトの仕組みを採用。上下さかさまにするとスイッチがオフになる。(参考商品)ノマルアルテ(ルミナベッラ東京 ☎03-3470-8805)



スーペルパタタ
Superpatata

ラテックス製で中に塩を詰めたる不思議な触感のランプ。2006年に卒業制作として発表、ドロッグデザインから注目された。製品化は未定。(参考商品)



ボティホ・ラ・シエスタ
Botijo la Siesta

伝統的な水差しボティホをリデザインした。ペットボトルのフォルムがモチーフ。ノラ・メディテラネア www.lamediterranea.es



プレイボーイ
Playboy

アクリル製のハンガーに電球をつけたシンプルな構造。掛けるシャツによって部屋の雰囲気が変わる。ドロッグデザインより。(参考商品)

日常のありふれた風景を切り取り、斬新なプロダクトを生み出す。その手際の鮮やかさにおいて、エクトル・セラノに並ぶデザイナーは世界中を探しても少ないだろう。若くしてドロッグデザインをも魅了した彼の才能は、それほどユニークだ。

2002年、ミラノ・サローネでのエキシビション「ホテル・ドロッグ」では「プレイボーイ」が展示された。これはユーザーが自分のシャツをハンガーに掛けることで完成するランプ。このように人とプロダクトをコミュニケーションさせることが、彼のデザインの根本にあるのだという。

**売るためではなく、
楽しませるモノ作りを。**

「日用品は、単なるモノではありえない。それが生活空間が増えると、必ず新しいシチュエーションが生まれるんだから。そういう視点からデザインのアイデンティティを作り上げたい」とエクトル。ただしデザインの世界となる生活から発想するだけで、簡単に斬新なプロダクトが完成するわけではないだろう。温かそうな鹽の奥で、たえず日常の何気ないシーンにまで目を光らせている彼の姿が思い浮かぶ。

それはプレイボーイと、近作「トップ・シークレット」との印象の違いからも窺える。トップシークレットは光源が繭に包まれたかのような美しいベ

ンダントランプだ。だがよく見ると、ネットに詰めてあるのはシユレッターを通した透明のポリエステル。「ゴミ袋の中に切り刻まれた機密書類が入っているイメージなんだ」とエクトルは笑う。「このメッセージは破棄されました」と数か国語で記したシートを混ぜるあたりも長が細かい。わずか数年の間にデザインの核となるコンセプトはますます積まされ、純化されてきたようだ。

やはり近作の「ウォーターブルーフ」は、水に浮かぶ充電式のランプ。これは彼が創造したランプの新たなアーキタイプ(原型)といっている。プールに投げ入れると、昔ながらのテーブルランプをかたどった光の像が水面をゆらゆらと漂う。照明器具には、こんな未知の楽しみ方があったのだ。

「スタイルにこだわってユーザーを限定せずに、誰でも親しみを覚えるものを作りたい。ウォーターブルーフの楽しさが誰にでも伝わるようにね」

彼は仕事をする上でスペインらしさを意識することはないという。しかし生活を楽しくする手段としてデザインを捉える彼のオブティミズムは、やはり地中海沿岸の人々に共通する気質と切り離せないように見える。

「僕のデザインの目的は売ることじゃない。出来上がりを見た人が笑ってくれればいいんだ」。そんな気負いのない言葉がひととき印象的だ。



●1974年バレンシア生まれ。ロンドンの王立芸術学院(RCA)を卒業後、現在もロンドンを中心に活動中。スペインのクライアントを中心に、バス用品などのプロジェクトが進行中。



トップ・シークレット
Top Secret

シュレッダーで裁断したフィルム使用
のまるでインスタレーションのような
行まいだが、プロダクトとしての完成
度も高い、¥57,750/メタルアルテ